

## ドクターNAKAMURAの 健康道場



### Vol.53 職場での喫煙 どうする？

今日は事業所の安全衛生委員会が開かれる。十数人の小さな会である。まずは安全衛生委員長の副社長がマイクを握る。なんで十数人の会でマイクがいるんやと突っ込みたくなるけど、我が社の仕来りなので仕方ない。

「諸君、昨今、企業の生産性をよくすることは話題になりますが、今日は生産性を落とさないためには企業がどうあるべきかを議論いただきたい。職員の健康をどう守るか。職員個人のパフォーマンスを落とさないためにはどうあるべきか。職員が肉体的に精神的に健康であることが、我が社のよりよい生産性を維持できる近道であることを理解いただきたい。」

ただでも濁声の副社長がわざわざマイクを使うから余計に訳分からないうが、ざっとこんな趣旨の挨拶だ。徐に司会がテーマを切り出した。

「委員長のご挨拶にもありましたように、職員の健康を守るためにま

ずはタバコにテーマを絞りたいと思います。各委員は各自持ち帰り、このテーマを各自の班で話し合い、まとめて来月提示するように。」

我が部署の衛生委員の志波ちゃんが、生真面目にメモを確認しながら、皆に説明し意見を求めている。

「え～私は精神面という切り口から意見したいと思います。タバコを吸うとストレスから解放されるために絶対に禁煙には反対です。」先月、上さんからこっそり絞り上げられたことなどついに忘れて玉木が真顔で答えると同時に集まった多くの職員から賛同の喝さいがあげられる。

「玉ちゃん。その通り。いい事言うね～。よっ、大統領！」

「それ、おかしくないですか？肉体的な健康はどうなるんですか？皆もタバコが癌や心筋梗塞、脳梗塞の基になることくらい知ってるでしょ。」芳川が反論する。

「固いこと言うなよ、よっちゃん。ここはちょっと目をつむってよ。」愛煙家の小川も玉木の肩を持つ。

「まあそう結論を急がなくても。今時だからネットで検索してみようよ。」後に驚愕する事実が待っていることも知らず古川が仲裁に入った。

そよかぜ 循環器内科・糖尿病内科  
(県立中央病院 前)

院長 中村陽一